

一般会計歳入予算比較表

(単位：千円、△：減額)

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比 (%)
町 税	379,249	372,162	7,087	1.90
諸収入 (うち財源不足額)	75,426 (0)	81,349 (0)	△ 5,923 (-)	△ 7.28 (-)
繰入金	9,926	9,359	567	6.06
地方交付税	1,820,009	1,801,345	18,664	1.04
県支出金	243,705	186,575	57,130	30.62
町 債	162,500	150,000	12,500	8.33
国庫支出金	123,920	72,368	51,552	71.24
その他①	52,787	58,684	△ 5,897	△ 10.05
その他②	82,767	90,468	△ 7,701	△ 8.51
計	2,950,289	2,822,310	127,979	4.53

※その他①・②の内訳は2ページをご覧ください

一般会計歳出予算性質別比較表

(単位：千円、△：減額)

科目	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比 (%)
人件費	576,824	540,142	36,682	6.79
物件費	287,251	260,255	26,996	10.37
維持補修費	19,922	17,217	2,705	15.71
扶助費	177,602	142,458	35,144	24.67
補助費	839,130	681,860	157,270	23.06
普通建設事業費	39,231	33,220	6,011	18.09
災害復旧事業費	0	0	0	-
失業対策費	0	0	0	-
公債費	606,936	724,825	△ 117,889	△ 16.26
積立金	1,060	1,270	△ 210	△ 16.54
投資及び出資金	0	0	0	-
貸付金	31,450	36,450	△ 5,000	△ 13.72
繰出金	365,883	383,613	△ 17,730	△ 4.62
前年度繰上充用金	0	0	0	-
予備費	5,000	1,000	4,000	400.00
計	2,950,289	2,822,310	127,979	4.53

安心して暮らせるまちを
主眼に予算を編成

過疎・高齢化により、町の人口は年々減少しています。町が誕生した昭和34年当時は9100人余りだった人口も、50年の間に6割近くが減ったこととなります。

現在の65歳以上の高齢者の割合はおよそ4割で、町民の2・5人に一人が高齢者という状況です。町財政の見通しとしては、収支は改善されつつありますが、町の借金の返済金の比率である実質公債費比率は、平成24～25年度ごろまで国の早

期健全化基準の25%を上回る見込みです。引き続き、地方税はもちろん、歳入の大半を占める地方交付税や各種補助金などの財源確保を図り、また、町税や貸付金などの未収金の回収にも全力で取り組みます。歳出については、緊急性の

高い事業を優先しながらも、若者が定住できる環境の整備を図るとともに、安心して子育てができる支援策も取り入れていきます。また、集落や地域に活力を取り戻せるよう「まちづくり交付金」も創設します。町財政の厳しさは依然変わ

りませんが、平成22年度は、厳しい中にも新しい事業が展開できるよう予算にめりはりを付け、住民と行政が協力して「安心して暮らせるまちづくり」を目指すための予算編成としました。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

総務課

- ▼防災一般管理（13万円）＝土砂災害ハザードマップ作成、新型インフルエンザ感染防護用品の備蓄
- ▼参議院議員選挙（739万円）
- ▼町農業委員選挙（325万円）

企画政策課

- ▼第5次日野町総合計画策定（52万円）
- ▼地デジ化移行推進（1,906万円）＝自主共聴施設の地デジ改修補助金、中継局整備支援など
- ▼元気なまちづくり交付金（360万円）＝住民主体の元気な集落づくり、地域活性化などの活動に交付金を交付（上限20万円）
- ▼若者定住支援＝病院や福祉施設の若者向け職員住宅の整備を支援。空き家を利用した移住・定住の支援
- ▼過疎バス対策（1,935万円）

産業振興課

- ▼売れる米作り助成（36万円）＝特別栽培米の出荷農家に助成、特産品販路拡大を推進
- ▼中山間地域等直接支払交付金（4,428万円）
- ▼チャレンジプラン支援（450万円）＝意欲ある農業者が取り組むプランを支援
- ▼森林整備事業地域活動支援交付金（1,423万円）
- ▼橋りょう修繕（725万円）
- ▼住宅・建築物安全ストック形成（745万円）＝アスベスト対策への助成

健康福祉課

- ▼子ども手当支給（3,683万円）＝中学校修了前の子ども1人につき月額1万3,000円を支給
- ▼小中学生の医療費助成（120万円）
- ▼子育て支援室「おひさまひろば」（190万円）＝子育て中の親子を対象に、ボランティアの協力を得てひのっこ保育所で開催
- ▼母子保健（274万円）＝妊産婦と乳幼児の健康の増進や育児支援
- ▼おしどり作業所菜種油製造（197万円）＝郡内産なたねを使ったなたね油を製品化
- ▼健康増進（757万円）＝健康診査など
- ▼ほかほか教室（189万円）＝介護予防事業として、筋力・口腔機能向上などの教室を開催

教育委員会

- ▼学力向上支援プロジェクト（80万円）＝ドリルによる繰り返し学習や地域とかかわりのある学習活動を展開
- ▼町村派遣指導主事配置（928万円）＝教育専門家を県から派遣。家庭・地域の教育力向上を図る
- ▼小学校耐震補強計画策定（630万円）
- ▼放課後子ども教室（764万円）＝放課後の学校を利用し、地域の大人の協力により、子どもの居場所づくりと子育て支援を行う
- ▼出前公民館（187万円）＝生涯学習地域推進員を活用し、地域での体験活動を支援
- ▼町民ミュージカル補助金（50万円）
- ▼ブックスタート（10万円）＝乳幼児から楽しめる絵本や木のおもちゃのプレゼントなど

平成22年度一般会計当初予算

まちの主な事業

特別会計の予算額比較表

（単位：千円、△：減額）

会計名	本年度当初	前年度当初	比較増減	対前年度比 (%)
国民健康保険	494,317	428,496	65,821	15.36
老人保健	858	1,212	△354	△29.21
介護保険	624,549	603,462	21,087	3.49
後期高齢者医療保険	58,410	56,164	2,246	4.00
簡易水道	112,435	117,275	△4,840	△4.13
公共下水道事業	135,227	143,849	△8,622	△5.99
農業集落排水事業	71,394	74,367	△2,973	△4.00
合計	1,497,190	1,424,825	72,365	5.08

総額およそ15億円
独自運営の7会計

町の予算には、一般会計とは別に、それぞれの目的ごとに運営している特別会計があります。現在、町には7つの特別会計があり、今年度当初予算の総額は約14億9719万円です（内訳は表のとおり）。なお、特別会計には、収支

特別会計予算

のバランスを取るために一般会計からお金を繰出しており、医療費給付や水道・下水道施設整備の借金返済などに充てられています。この多額の繰出金は、一般会計を圧迫する要因の一つでもあります。町では、この繰出し金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進、介護予防や健康づくりなどに取り組んでいます。